



PRESS RELEASE

16.11.2018

ヘイトスピーチはしない。あなたは？

ケリング ファンデーションは本日より#IDontSpeakHater オンラインキャンペーンを展開し、サイバーブライニング(ネット上における誹謗中傷の問題)に対して立ち上がるようZ世代に呼びかけます。

ケリング ファンデーションの暴力撲滅を目指す活動が10周年を迎える今年、「ホワイトリボン・フォー・ウィメン 2018」キャンペーン期間中に、初めてグループの全ブランドが参加し、女性に対する暴力撲滅に向けた寄付が行われます。団結してサイバーブライニングに立ち向かいましょう。



世界中で、女性がネット上での誹謗中傷といった嫌がらせに遭う可能性は男性の27倍とされています。ⁱ 現実社会で受けるいじめと同等のインパクトとされ (Equally impactful as real-life bullying)ⁱⁱ、性差別によるネット上の迷惑行為は世界中に蔓延し、デジタル空間において少女や女性を脅してその声をかき消しています。7年目となる「ホワイトリボン・フォー・ウィメン」キャンペーンで、ケリング ファンデーションはサイバーブライニングに対して立ち上がるよう世界に呼びかけます。

11月16日～11月30日に開催されるキャンペーンは、人生の多くの部分をオンラインで過ごしてきたZ世代に対して、当事者ではない人間による介入ができるよう啓発することを目的としています。1995年以降に生まれたこの世代は、サイバーブライニングの影響を大きく受けており、若者の約半数がネット上での誹謗中傷の被害に遭っています。被害者の4人に1人は2回以上の被害を受けているのです。ⁱⁱⁱ



#IDontSpeakHater と IDontSpeakHater.org を通し、ケリング ファンデーションはこの若者世代に自分の仲間をネット上の誹謗中傷といった嫌がらせから守るよう呼びかけます。キャンペーンでは、ネット上で侮辱的なコメントを見た際に「荒らしに反応しない」という社会通年に従って沈黙を守るのではなく、嫌がらせの悪循環を断ち切る為に、誹謗中傷をウィットやユーモアを用いて別の意味を持つ表現に言い換え、攻撃的なコメントを退けます。

本キャンペーンと同時に、世界で少女と女性の 3 人に 1 人が影響を受ける暴力の撲滅を目指して 2008 年に設立されたケリング ファンデーションが 10 周年を迎える今年、初めてグループの全ブランドが団結し、「ホワイトリボン・フォー・ウィメン 2018」キャンペーン期間中に女性に対する暴力撲滅に向けた寄付が行われます。各ブランドは、ケリング ファンデーションが支援するプログラムに対し、特定の製品または製品ラインの小売価格の 10%を寄付します。

#IDontSpeakHater は、ケリング ファンデーションが暴力撲滅を目指して活発に活動する主要 7 개국^{iv}を起点にソーシャルメディアで 展開されます。キャンペーンでは、インフルエンサーのホワイトリボン・チームから、嫌がらせの悪循環を断ち切り、ネット上の群集心理に立ち向かい、言葉遣い・ものとのらえ方・行動を良い方向へと変えるよう、世界中の若者に呼びかけます。

Z 世代に対するネット上の嫌がらせ、およびその標的が少女と女性に偏る問題に注目を集めるため、キャンペーンでは時と場所を選ばずに起こりうるサイバーブライニングの心理的被害に対する意識向上を目指します。ネット上の嫌がらせがもたらす影響は、現実世界のいじめと同様に、ストレス障害、トラウマ、不安、睡眠障害、うつ、肉体的苦痛といった症状が現れるのです。

「安心してネットを利用する権利が誰しにも与えられています。デジタル空間において少女や女性を脅し、その声をかき消す行為に我々は立ち向かう必要があります。今回の「ホワイトリボン・フォー・ウィメン 2018 キャンペーン」において、ケリングの全ブランドが一同に女性への暴力撲滅を目指した寄付活動に立ち上がることを誇りに思っています。ネット上におけるヘイトスピーチに共に立ち向かいましょう」とケリング会長兼 CEO はコメントしました。

(英/仏)プレスキットは[こちら](#)

Follow #IDontSpeakHater from 16 to 30 November on
Instagram: @Kering_official
Twitter: @KeringforWomen
Facebook: @Keringgroup
Youtube: Kering Group

ケリングについて

グローバル・ラグジュアリー・グループであるケリングは、ファッション、レザーグッズ、ジュエリー、ウォッチ製品を 扱う、選り抜かれたラグジュアリーブランドを擁しています。グッチ、サンローラン、ボッテガ・ヴェネタ、バレンシアガ、アレキサンダー・マックイーン、プリーオーニ、プシュロン、ポメラート、ドド、キーリン、ユリス・ナルダン、ジラルール・ペルゴ、ケリング アイウェア。シグネチャーである、「empowering imagination イマジネーションをその先へ」のとおり、ケリングは想像力を伸ばし、明日のラグジュアリーを創造することで、ブランドがその可能性を最もサステナブルな方法で実現するよう後押ししています。2017 年には 108.23 億ユーロの収入を達成し、グループ社員の数は年度末時点で 29,000 人に上ります。

ケリング ファンデーションについて

2008 年に設立されたケリング ファンデーションは、女性に対する暴力の根絶に取り組んでいます。グローバル規模で影響力を高めるため、アメリカ大陸では性的暴行の根絶、西ヨーロッパ(フランス、イタリア、英国)では有害な伝統的慣行の根絶、アジアでは家庭内暴力の根絶といったように、3 つの地域において、それぞれ1つの目標に重点を置いています。さらに、ケリング ファンデーションは、移民・難民女性の状況にも特別な注意を払っています。ケリング ファンデーションは、2 万 9,000 人のケリングの従業員と共に、NGO プロジェクト、社会起業家、啓発活動を支援しています。

KERING FOUNDATION



ホワイトリボン・フォー・ウイメンについて

1991年にスタートしたホワイトリボン運動は、モントリオール理工科大学の男子学生が「お前たちにここにいる(ここで教育を受ける)権利はない」と叫びながら14名の女子学生を射殺した「モントリオール理工科大学虐殺事件」を受けてのものでした。この運動は、女性に対する暴力のない未来への文化的変革をもたらすことを目指して、男女平等、健全な人間関係、男らしさに関する新しい考え方を推進しています。1999年、国連は11月25日を「女性に対する暴力撤廃の国際デー」に制定し、ホワイトリボンをそのシンボルとすることを宣言しました。2012年、この理念に対する関心をさらに高めるため、ケリングファンデーションは独自の「ホワイトリボン・フォー・ウイメン」キャンペーンをスタートさせ、財団理事のステラ・マッカートニーがホワイトリボンを改めてデザインしました。

Press Contact

Juliette Jacovidis

+33 (0)6 48 49 83 15

juliette.jacovidis@jaycommunication.com

日本でのお問合せ先

株式会社 ケリング ジャパン

産形 利恵

03-3486-2157

rie.ubukata@kering.com

Hashtags

#IDontSpeakHater
#KeringForWomen
#WRFW2018

Websites

www.IDontSpeakHater.org
www.KeringFoundation.org
www.Kering.com

Social media

Twitter: @KeringForWomen @KeringGroup
Instagram: @kering_official
Facebook: KeringGroup
LinkedIn: Kering
Youtube: KeringGroup

ⁱ UN Women - http://www.unwomen.org/-/media/headquarters/attachments/sections/library/publications/2015/cyber_violence_gender%20report.pdf?vs=4259

ⁱⁱ #HerNetHerRights: mapping the state of online violence against women and girls in Europe: European Women's Lobby

ⁱⁱⁱ <http://www.bullyingstatistics.org/content/cyber-bullying-statistics.html>

^{iv} 中国、フランス、イタリア、日本、イギリス、アメリカ、メキシコ